学校番号	３０２６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ(光村図書)、書Ⅰプライマリーブック(教育図書)						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

小学校、中学校の書写で学んだことを発展させ、芸術科書道では用具用材の違いや用筆の違いで、様々な表現ができることを学びます。「A 表現」(1)漢字仮名交じりの書、(2)漢字の書、(3)仮名の書・「B 鑑賞」(1)鑑賞・[共通事項]の内容を、年間を通して学びます。学習の到達度は、学習活動への参加状況や態度、ワークシート、レポート、ポートフォリオ、作品ファイル等で評価します。「何ができるようになったか」を大切にします。1 時間の中での進歩、単元を通しての進歩、学期を通しての進歩、そして、1 年間の学習を通しての進歩が感じられるような学習への取り組みをしてください。また、一人ひとりの個性を生かし、これを伸ばしていきます。「書道Ⅰ」の学習を通して、生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになることを願っています。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3)主体的に書の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式,多様性などについて幅広く理解するとともに,書写能力の向上を図り,書の伝統に基づき,効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し,意図に基づいて構想し表現を工夫したり,作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え,書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み,生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに,感性を高め,書の伝統と文化に親しみ,書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	書写から書道へ	書は「見る」ものか「読む」ものか(国語科書写と芸術科書道の違い)	a:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 b:書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、様々な書の良さを味わっている。 c: 書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味をもち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート	レポート・作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ・参加状況や態度
	姓名印づくり	漢字の夜明け 中国の書の伝統と文化の扉を開く(自分の名前の篆書を調べ、様々な篆書を使って書として表現された篆刻を知る)	a:印稿作りにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表している。 b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:名前の篆書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート	レポート・作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ・参加状況や態度
	楷書の扉	漢字のプラットフォームを探る(唐の四大家・北魏の書を中心に)	a:楷書の古典の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、中国の文字と書 の伝統と文化について理解する。 b: 楷書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 c:楷書の古典の特質に基づく幅広い表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	ワークシート	レポート・作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ・参加状況や態度
	行書の扉	中国(東晋と唐)と日本の文化から探る 書の文化の吸収と確立(行書を知る 東晋の王羲之・唐の顔真卿・平安の三筆を中心に)	a:行書の古典の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、中国や日本等の文字と書の伝統と文化について理解する。 b: 行書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 c: 行書の古典の特質に基づく幅広い表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	ワークシート	レポート・作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ・参加状況や態度
2	草書と隷書の扉	省略の極み・直線化と波線の誕生	a:草書・隷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。 b:草書・隷書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 c:草書・隷書の古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わってとらえる。	ワークシート	レポート・作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ・参加状況や態度
	仮名の扉	和の心を表す 行を見る:線・リズム・形(連綿・平仮名・蓬萊切・高野切第三種を中心に)	a:古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿と単体、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 b:古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 c:主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	ワークシート	レポート・作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ・参加状況や態度
3	漢字仮名交じりの書	感情を、自然の景色を、言葉で表現する (作品の表現意図を考える)	a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 c:自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	ワークシート	レポート・作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ・参加状況や態度
適宜	日本の伝統の扉	紙を、筆を、墨を、硯を、日本の職人から感じる伝統と文化の継承	a:伝統的な加工技術を職人から学び、理解する。 b:自作の用具を用いた表現を通して、用具と用材の表現効果との関わりを実感的に理解する。 c:書の美を伝統から幅広く感受する心を養う。	ワークシート	レポート・作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ・参加状況や態度

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度